

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	園芸生産環境実験実習Ⅱ [Experimental Study on Horticulture]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	260006	授業形態	実習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	山口健一／陳 蘭庄／廣瀬大介／長江嗣朗／前田隆昭			学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(2) DP3(3)		
授業概要	本実験実習は、園芸生産環境実験実習Ⅰを踏まえた上で、花卉、蔬菜、果樹、作物および環境保全の各分野、それぞれの専門的な実験・実習を行います【知識・技能の育成】。なお、受講者はローテーションにより教員が担当する5分野すべてで実験・実習を行います。						
関連する科目	受講にあたっては、園芸生産環境実験実習Ⅰを受講していることが望ましい。						
授業の進め方と方法	実験・実習前に各回の実験・実習について、説明を行ったうえで行っていきます【知識・技能の育成】。随時、プリントなども配布します。						
授業計画	<p>以下の項目について、30回(2コマ×15項目)の実験・実習をフィールドセンターや学外フィールドを中心にを行います(順不同)。</p> <p>1. 2. 作物の栽培技術1. ソバの花の観察 (廣瀬大介) ソバの花の形態的特性を学びます。</p> <p>3. 4. 作物の栽培技術2. 作物の収穫・調整 (廣瀬大介) 作物の収穫と調整方法について学びます。</p> <p>5. 6. 作物の栽培技術3. 麦類の播種 (廣瀬大介) 麦類の播種方法について学びます。</p> <p>7. 8. 野菜の栽培技術1. (陳 蘭庄) 果菜類の栽培・収穫・種取プロセスの実践について学びます。</p> <p>9. 10. 野菜の栽培技術2. (陳 蘭庄) 根・葉菜類の栽培・収穫・貯蔵プロセスの実践について学びます。</p> <p>11. 12. 野菜の栽培技術3. (陳 蘭庄) DNAレベルでの野菜品種判別プロセスの実践について学びます。</p> <p>13. 14. 環境保全園芸技術1. (山口健一) 未利用生物資源(甘藷茎葉)の促成堆肥化について学びます。</p> <p>15. 16. 環境保全園芸技術2. (山口健一) 緑肥を利用した冬季圃場管理について学びます。</p> <p>17. 18. 環境保全園芸技術3. (山口健一) 西南暖地の雑草種とIWM(総合雑草管理)について学びます。</p> <p>19. 20. 花卉の栽培技術1. 切り花栽培 (長江嗣朗) 秋季から冬季にかけて生産ができるストックを用いて切り花生産を実施する。</p> <p>21. 22. 花卉の栽培技術2. 観葉側物の栽培 (長江嗣朗) 比較的温暖な温室を用いて観葉植物の栽培を行い、一般的な花苗との維持管理の違いを学ぶ。</p> <p>23. 24. 花卉の栽培技術3. 球根栽培とその生産 (長江嗣朗) 幾つかの種類の球根の繁殖から実施し、開花さらには新しい球根の生産を実施する。</p> <p>25. 26. 果樹の栽培技術1. (前田隆昭) 落葉果樹の整枝せん定について学びます。</p> <p>27. 28. 果樹の栽培技術2. (前田隆昭) 常緑果樹の整枝せん定について学びます。</p> <p>29. 30. 果樹の栽培技術3. (前田隆昭) 落葉果樹の施肥および土づくりについて学びます。</p>						
授業の到達目標	園芸植物(蔬菜、果樹、花卉)及び主要作物の生産において、環境に配慮した栽培法を学び、高品質で安全・安心な植物生産が実践できる技術を習得します【知識・技能の育成】。						
授業時間外の学修	<p>【予習】第1回目に実験・実習内容を示しますので、各自でその内容について予め毎回予習を行って下さい(1時間程度)。</p> <p>【復習】授業ではレポートの提出を課しますので、受講者各自で毎回復習してレポートを完成させて下さい(1時間程度)。</p> <p>なお、授業の中で不明な箇所等については、随時担当教員に質問して学びを深めて下さい。</p>						
課題に対する フィードバック	提出したレポートについては、担当教員から解説をします。	評価方法	各回毎にレポート及び実習態度・技術習熟度等で採点し、全授業を通して100点満点で評価します。				
テキスト	授業(実験項目)内容に関する資料を随時配布します。						
参考書	関連する参考書・資料を適宜紹介します。						
備考							